浜の活力再生プラン
令和 5～9 年度
(第 2 期)

1 地域水産業再生委員会

組織名	苓北地区地域水産業再生委員会
代表者名	会 長 廣田幸英 (天草漁業協同組合苓北支所長)
再生委員会の構成員	天草漁業協同組合苓北支所 苓北町農林水産課 熊本県天草広域本部水産課
オブザーバー	苓北町商工会

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	対象地域 熊本県天草郡苓北町 (天草漁協苓北支所の地区) 対象漁業者 86 名 (延べ 201 名) 潜水漁業 21 名、アオサ養殖漁業 5 名、ヒオウギ貝・岩ガキ養殖漁業 2 名、一本釣り漁業 104 名、えびこぎ網漁業 86 名、定置漁業 4 名、刺網漁業 32 名
-------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>苓北町の総合戦略においては、水産資源の維持回復のための種苗放流、藻場の造成、担い手の育成など水産業振興のための各種施策を推進し、担い手の育成・確保による経営体制の強化、漁獲物のブランド化、新たな養殖事業の研究および特産品開発・地産地消の推進を図っていくという基本的方向を定めている。</p> <p>そのような中で、地域の漁業は一本釣り、刺網、潜水、えびこぎ網等の漁船漁業とヒオウギ貝や岩ガキの貝類養殖漁業、アオサの海藻養殖漁業などが営まれており、漁業者が所属する天草漁協苓北支所は荷捌き場を有し、地元商店への新鮮な鮮魚を供給するとともに高級魚などは熊本市場や関東・関西・福岡へ出荷しており、令和 4 年度の水揚量は約 1 7 2 t、水揚金額は約 2 億 3 百万円となっている。</p> <p>近年は、ヒオウギ貝、生ウニ、岩ガキの 3 種について、「天草苓北旬グルメ」として苓北町商工会も PR に特に力を入れている他、アオサ養殖漁業が好調であり、新たに就業した者もいるなど今後が期待されている。</p> <p>昔からこの海域でトサカノリ・ヒジキ・テングサ・アオサなど多くの海藻が豊富であり、この豊かな海藻を食べて育ったムラサキウニやアカウニは高い評価を受けており、町の特産品として PR や宅配事業を推進してきた。</p> <p>さらに平成 7 年からは「天草天領アジ」のブランド化を進め、良い成果を上げていたが、ここ 5 年間は少しずつ水揚が減少し、現在は水揚げがゼロに等しい状態である。減少した原因は温暖化やまき網による乱獲、藻場の減少などが考えられるが不明である。</p> <p>また、海水温の上昇や磯焼けなどによる周辺地域の水産資源の減少や漁業資材等の高騰によるコスト増大に加え、苓北海域で水揚げされるブリやタイなどの魚価の低下や水揚げの減少などにより漁業経営は悪化し、漁業の廃業や漁業以外の仕事との兼業が増えるなど、漁業従事者の減少や高齢化、水産資源回復のための対策が課題となっている。</p>

(2) その他の関連する現状等

苓北町は、熊本県天草諸島の天草下島の北西端に位置し、西は天草灘、北は千々石灘に面した美しい海に囲まれた町で澄んだ空、青い海、そして水平線にゆったりと沈んでいく夕日、限りなくやさしい自然の抱擁の中で、ゆるやかに時が流れており、これまで、町の自然・歴史を大切にしながら、まちづくりが進められている。

自然・景観では、富岡半島にある熊本県指定の天然記念物「ハマジンチョウ」が群生。南方系の植物で九州中部に分布し、海水に浸り、しぶきがかかる浜辺に自生している。

また、海の中には多彩な生物が生息しており「富岡海域公園」は美しい魚やサンゴの世界が広がる”海の楽園“となっている。

歴史では、富岡城の本丸跡に「熊本県富岡ビジターセンター」を開設。さらに櫓・高麗門・白堀等が復元され、当時の面影を偲ぶことができる。平成26年度には新たに長屋・東西櫓を復元、平成27年7月長櫓跡に「苓北町郷土資料館」がオープンし、町外や県外からの観光客からも親しまれている。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

1. 藻場再生、資源管理対策

・海藻類が減少している原因究明と藻場の復活

漁協及び潜水組合は、既存の苓北町水産振興協議会でスポアバック法によるトサカノリ増殖に取り組むとともに、ヒジキ漁場の造成を目指す。また、富岡地区～都呂々地区において藻場減少の原因を究明し対策に取り組む。

・種苗放流及び禁漁の継続とその効果検証

漁協及びアカウニ採捕者は、アカウニ種苗の放流を継続するとともに、産卵期に禁漁期間を設定し、アカウニ資源の増加を図る。また、漁協及びえびこぎ網漁業者は、クルマエビ種苗の放流を継続するとともに、毎週土曜日を休漁日と設定し、クルマエビ資源の増加を図る。

2. 魚価向上対策

・アカウニの単価向上・増産体制の確立

漁協はアカウニの集荷体制の確立と系統出荷による販売促進を図る。

・アカウニの高付加価値化

漁協及びアカウニ採捕者は、衛生管理を行い出荷管理としてアカウニの形状維持などの徹底による高付加価値化を目指す。

・アオサ養殖技術の確立

漁業者は各浜に適したアオサ養殖技術の確立と指導機関と連携した養殖管理手法の統一により生産量の確保を行う。

・未利用魚の有効利用

漁協は未利用魚を有効利用し付加価値を付けるため、地元水産系高校等と連携し、加工品の開発などを行う。

・販売促進対策

漁協はカタログ販売の推進と、天草漁協全体での受注・発送窓口の一本化などの体制づくり等を検討する

4. 新規就業者の確保・育成
 ・漁協及び漁業者は、新規就業者の受入体制づくりのため、指導員の選定・教育・マニュアル化などを行い、町のホームページや広報等を利用して新規就労を目指す者への周知を図る。
5. 漁業コストの削減
 ・漁業者は燃油高騰対策として定期的な船底掃除や漁場までの移動中の低速航行や漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。

(3) 資源管理に係る取組

熊本県漁業調整規則、日本海・九州西広域漁業調整委員会指示及び天草不知火海区漁業調整委員会指示が定める採捕制限を遵守し、資源保護及び漁獲量の適正管理に努める。

(4) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（令和5年度）「所得向上率（基準年比）17.1%」

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>1. 藻場再生、資源管理対策</p> <p>① 漁協及び潜水組合は、既存の苓北町水産振興協議会で増殖方針等を協議する。当計画に基づき、スポアバック法によるトサカノリ増殖に取り組むとともに、ヒジキ漁場の造成を目指し、坂瀬川地区に種付けしたプレートを設置することによる増殖（以下「プレート法」）を試行する。</p> <p>② 近年、富岡地区～都呂々地区の藻場の減少が急激に進行しているため、漁協及び潜水組合は、指導機関と連携し、現状とその減少要因を調査し、藻場復活計画を協議・策定する。</p> <p>③ 漁協及びアカウニ採捕者は、アカウニ種苗の放流を継続するとともに、指導機関と連携した効果調査により放流方法を検証し、放流効果の向上を図る。加えて、産卵期に禁漁期間を設定し、アカウニ資源の増加を図る。</p> <p>④ 漁協及びえびごぎ網漁業者は、クルマエビ種苗の放流を継続するとともに、指導機関と連携した効果調査により放流方法を検証し、放流効果の向上を図る。加えて、毎週土曜日を休漁日と設定し、クルマエビ資源の増加を図る。</p> <p>2. 魚価向上対策</p> <p>① 漁協とアカウニ採捕者は、徹底した漁場管理により、採捕量を増やし、漁協集荷量を向上させ漁業収入の増加を図る。さらに地元ウニ祭とタイアップさせ漁協出荷先を見直し、また販路開拓を図ることにより単価向上を目指す。</p> <p>② 漁協及び岩カキ養殖業者は、徹底した漁場管理（貝掃除・選別）を行うことにより、へい死率を下げ成長を促し生産向上を図るとともに、出荷前の殺菌海水による浄化や異物除去等の衛生管理、品質管理を徹底する。</p> <p>③ 漁協は、販売体制の効率化及び魚価の向上を目指し、同漁協内での出荷体制及び輸送手段について検討する。</p> <p>④ 漁協及びアオサ養殖業者は、指導機関と連携した養殖管理手法の統一により各人の網1枚当たりの平均収量を向上させ、安定した生産量の確保に繋げる。また、品質管理を徹底させ単価向上を図ると共に販路拡大を目指す。</p>
---------------------	---

	<p>⑤ 漁協は、えびこぎ網漁や定置網漁で漁獲される低価格、未利用の水産物の需要にあった販売先を調査し、販売を試行する他、地元水産系高校等と連携し、加工品のレシピ開発に向け試作し、魚価の向上を目指す。</p> <p>⑥ 漁協は、地元水産物をカタログ販売や富岡港直販所で販売するとともに、インターネット通販による販売を推進する。</p> <p>4. 新規就業者の確保・育成</p> <p>① 漁協及び漁業者は、漁業就業者不足や高齢化の進行に対応するため、県、町と連携し、新規漁業就業者の受入体制づくりについて協議する。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>① 漁協及び漁業者は、燃油の急騰による漁業コストの圧迫に備えるため、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。</p> <p>② 漁業者全員が定期的な船底清掃や水揚中などの船舶係留中の機関停止を励行し、燃油消費を抑え、燃料消費を5%節減する。</p>
活用する支援措置等	<p>種苗放流事業（町）、水産多面的機能発揮対策事業（国・県・町） 熊本県栽培漁業地域展開事業（県・町） 漁業経営セーフティネット構築事業（国）</p>

2年目（令和6年度）「所得向上率（基準年比）18.8%」

漁業収入向上のための取組	<p>1. 藻場再生、資源管理対策</p> <p>① 漁協及び潜水組合は、苓北町水産振興協議会の増殖方針に基づき、スパアバック法によるトサカノリ等の増殖により漁場を拡大させ、トサカノリの水揚量7.5トンを目指す。また、ヒジキ漁場の造成を目指し、坂瀬川地区に加え、富岡地区にもプレート法による増殖を試行する。併せて、指導機関と連携し、上記取り組みに対する効果調査を実施する。</p> <p>② 漁協及び潜水組合は、指導機関と連携し、富岡地区～都呂々地区における藻場復活計画（以下「藻場復活計画」）に基づき、藻場増殖試験を実施する。</p> <p>③ 漁協及びアカウニ採捕者は、アカウニ種苗の放流を継続するとともに、指導機関と連携した効果調査により放流方法を検証し、放流効果の向上を図る。加えて、産卵期に禁漁期間を設定し、アカウニ資源の増加を図る。</p> <p>④ 漁協及びえびこぎ網漁業者は、クルマエビ種苗の放流を継続するとともに、指導機関と連携した効果調査により放流方法を検証し、放流効果の向上を図る。加えて、毎週土曜日を休漁日と設定し、クルマエビ資源の増加を図る。</p> <p>2. 魚価向上対策</p> <p>① 漁協とアカウニ採捕者は、徹底した漁場管理により、採捕量を増やし、漁協集荷量を向上させ漁業収入の増加を図る。さらに地元ウニ祭とタイアップさせ漁協出荷先を見直し、また販路開拓を図ることにより単価向上を目指す。</p> <p>② 漁協及び岩カキ養殖業者は、徹底した漁場管理を行うとともに天領岩カキ（苓北町で生産された250g～700g以上の岩カキ）の認知度の向上による高単価を目指す。</p> <p>③ 漁協は、販売体制の効率化及び魚価の向上を目指し、同漁協内での出荷体制及び輸送手段について検討する。</p> <p>④ 漁協及びアオサ養殖業者は、指導機関と連携した養殖管理手法の統一により各人の網1枚当たりの平均収量を向上させ、安定した生産量の確保に繋げる。また、品質管理を徹底させ単価向上を図ると共に販路拡大を目指す。</p>
--------------	---

	<p>⑤ 漁協は、えびこぎ網漁や定置網漁で漁獲される低価格、未利用の水産物の需要にあった販売先を調査し、販売を試行する他、地元水産系高校等と連携し、加工品のレシピ開発に向け試作し、魚価の向上を目指す。</p> <p>⑥ 漁協は、カタログ販売商品や富岡港の直販所での販売手法を前年度の結果から見直す。また、インターネット通販による商品の見直しを検討する。加えて、天草漁協全体での受注・発送の窓口の一本化などワンストップ販売体制づくりを推進する。</p> <p>3. 新規就業者の確保・育成</p> <p>① 漁協及び漁業者は、漁業就業者不足や高齢化の進行に対応するため、県、町と連携し、新規漁業就業者の受け入れる指導者の選定、教育を行う。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>① 漁協及び漁業者は、燃油の急騰による漁業コストの圧迫に備えるため、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。</p> <p>② 漁業者全員が定期的な船底清掃や水揚中などの船舶係留中の機関停止を励行し、燃油消費を抑え、燃料消費を5%節減する。</p>
活用する支援措置等	<p>種苗放流事業（町）、水産多面的機能発揮対策事業（国・県・町） 熊本県栽培漁業地域展開事業（県・町） 漁業経営セーフティネット構築事業（国）</p>

3年目（令和7年度）「所得向上率（基準年比）20.4%」

漁業収入向上のための取組	<p>1. 藻場再生、資源管理対策</p> <p>① 漁協及び潜水組合は、苓北町水産振興協議会の増殖方針に基づき、スボアバック法によるトサカノリ等の増殖により漁場を拡大させ、トサカノリの水揚量8トンを目指す。また、ヒジキ漁場の造成を目指し、坂瀬川地区に加え、富岡地区にもプレート法による増殖を試行する。併せて、指導機関と連携し、上記取り組みに対する効果調査を実施する。</p> <p>② 漁協及び潜水組合は、指導機関と連携し、藻場復活計画に基づき、藻場増殖試験の継続と中間結果の検証を行う。</p> <p>③ 漁協及びアカウニ採捕者は、アカウニ種苗の放流を継続するとともに、指導機関と連携した効果調査（放流量に対する水揚量の把握含む）により放流方法を検証し、放流効果の向上を図る。加えて、産卵期に禁漁期間を設定し、アカウニ資源の増加を図る。</p> <p>④ 漁協及びえびこぎ網漁業者は、クルマエビ種苗の放流を継続するとともに、指導機関と連携した効果調査により放流方法を検証し、放流効果の向上を図る。加えて、毎週土曜日を休漁日と設定し、クルマエビ資源の増加を図る。</p> <p>2. 魚価向上対策</p> <p>① 漁協とアカウニ採捕者は、徹底した漁場管理により、採捕量を増やし、漁協集荷量を向上させ漁業収入の増加を図る。さらに地元ウニ祭とタイアップさせ漁協出荷先を見直し、また販路開拓を図ることにより単価向上を目指す。</p> <p>② 漁協及び岩カキ養殖業者は、徹底した漁場管理を行うとともに、天領岩カキの更なる認知の向上を図るためポスター等の販促し販促資材を検討する。</p> <p>③ 漁協は、販売体制の効率化及び魚価の向上を目指し、整備した体制について検証を行いさらなる効率化について検討する。</p> <p>④ 漁協及びアオサ養殖業者は、指導機関と連携した養殖管理手法の統一により各人の網1枚当たりの平均収量を向上させ、安定した生産量の確保に繋げる。また、品質管理を徹底させ単価向上を図ると共に販路拡大を</p>
--------------	---

	<p>目指す。</p> <p>⑤ 漁協は、えびこぎ網漁や定置網漁で漁獲される低価格、未利用の水産物の需要にあった販売先を調査し、販売を試行する他、地元水産系高校等と連携し、加工品のレシピ開発に向け試作し、魚価の向上を目指す。</p> <p>⑥ 漁協は、カタログ販売商品や富岡港の直販所での販売手法を見直し、改善策を検討する。また、インターネット通販による商品の見直しを検討する。加えて、天草漁協全体でのワンストップ販売体制づくりを推進する。</p> <p>3. 新規就業者の確保・育成</p> <p>① 漁協及び漁業者は、漁業就業者不足や高齢化の進行に対応するため、県、町と連携し、新規漁業就業者への県・町のホームページや広報等を活用して周知に努める。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>① 漁協及び漁業者は、燃油の急騰による漁業コストの圧迫に備えるため、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。</p> <p>② 漁業者全員が定期的な船底清掃や水揚中などの船舶係留中の機関停止を励行し、燃油消費を抑え、燃料消費を5%節減する。</p>
活用する支援措置等	<p>種苗放流事業（町）、水産多面的機能発揮対策事業（国・県・町） 熊本県栽培漁業地域展開事業（県・町） 漁業経営セーフティネット構築事業（国）</p>

4年目（令和8年度）「所得向上率（基準年比）22.0%」

漁業収入向上のための取組	<p>1. 藻場再生、資源管理対策</p> <p>① 漁協及び潜水組合は、苓北町水産振興協議会の増殖方針に基づき、スボアバック法によりトサカノリ漁場を拡大させ、トサカノリの水揚量8.5トンを目指す。また、ヒジキ漁場の造成を目指し、坂瀬川地区に生育可能なモデル漁場を選定する。引き続き、指導機関と連携し、上記取り組みに対する効果調査を実施する。</p> <p>② 漁協及び潜水組合は、指導機関と連携し、藻場復活計画に基づき、藻場増殖試験の継続と試験結果の検証から減少要因を考察する。</p> <p>③ 漁協及びアカウニ採捕者は、アカウニ種苗の放流を継続するとともに、指導機関と連携した効果調査（放流量に対する水揚量の把握含む）の結果検証により適切な放流方法を考察する。加えて、産卵期に禁漁期間を設定し、アカウニ資源の増加を図る。</p> <p>④ 漁協及びえびこぎ網漁業者は、クルマエビ種苗の放流を継続するとともに、指導機関と連携した効果調査により放流方法を検証し、放流効果の向上を図る。加えて、毎週土曜日を休漁日と設定し、クルマエビ資源の増加を図る。</p> <p>2. 魚価向上対策</p> <p>① 漁協とアカウニ採捕者は、徹底した漁場管理により、採捕量を増やし、漁協集荷量を向上させ漁業収入の増加を図る。さらに地元ウニ祭とタイアップさせ漁協出荷先を見直し、また販路開拓を図ることにより単価向上を目指す。</p> <p>② 漁協及び岩カキ養殖業者は、徹底した漁場管理を行うとともに、天領岩カキの更なる認知の向上を図るためポスター等の販促し販促資材を作成する。</p> <p>③ 漁協は、販売体制の効率化及び魚価の向上を目指し、整備した体制について検討を行い更なる効率化を目指すについて検討する。</p> <p>④ 漁協及びアオサ養殖業者は、指導機関と連携した養殖管理手法の統一により各人の網1枚当たりの平均収量を向上させ、安定した生産量の確保</p>
--------------	---

	<p>に繋げる。また、品質管理を徹底させ単価向上を図ると共に販路拡大を目指す。</p> <p>⑤ 漁協は、魚価の向上を目指し、えびこぎ網漁や定置網漁で漁獲される低価格、未利用の水産物の需要にあった販売先を選定し、本格的に販売を開始する。また、地元水産系高校等と連携し、開発したレシピによる加工品を製造し、販売を開始する。</p> <p>⑥ 漁協は、採算性を考慮した商品によるカタログ販売や販売手法を改善した富岡港の直販所での販売を継続する。また、インターネット通販による商品を見直し、必要に応じて改善する。加えて、天草漁協全体でのワンストップ販売体制づくりを推進する。</p> <p>3. 新規就業者の確保・育成</p> <p>① 漁協及び漁業者は、漁業就業者不足や高齢化の進行に対応するため、県、町と連携し、新規漁業就業者への県・町のホームページや広報等を活用して周知に努める。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>① 漁協及び漁業者は、燃油の急騰による漁業コストの圧迫に備えるため、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。</p> <p>② 漁業者全員が定期的な船底清掃や水揚中などの船舶係留中の機関停止を励行し、燃油消費を抑え、燃料消費を5%節減する。</p>
活用する支援措置等	<p>種苗放流事業（町）、水産多面的機能発揮対策事業（国・県・町） 熊本県栽培漁業地域展開事業（県・町） 漁業経営セーフティネット構築事業（国）</p>

5年目（令和9年度）「所得向上率（基準年比）23.5%」

漁業収入向上のための取組	<p>1. 藻場再生、資源管理対策</p> <p>① 漁協及び潜水組合は、苓北町水産振興協議会の増殖方針に基づき、スパアバック法によりトサカノリ漁場を拡大させる他、都々呂地区にトサカノリ漁場を造成し、トサカノリの水揚を過去5年間の最高水揚量9.0トンを目指す。また、ヒジキ漁場の造成を目指し、坂瀬川地区に加え、富岡地区に生育可能なモデル漁場を選定する。引き続き、指導機関と連携し、上記取り組みに対する効果調査を実施する。</p> <p>② 漁協及び潜水組合は、指導機関と連携し、考察した富岡地区～都呂々地区の藻場減少要因に対する対策を実施する。</p> <p>③ 漁協及びアカウニ採捕者は、指導機関と連携し、前年の考察結果を踏まえ、当地域に適した放流方法によりアカウニ種苗の放流を実施し、放流効果の向上を図る。加えて、産卵期に禁漁期間を設定し、アカウニ資源の増加を図る。</p> <p>④ 漁協及びえびこぎ網漁業者は、クルマエビ種苗の放流を継続するとともに、指導機関と連携した効果調査の結果検証により適切な放流方法を考察する。加えて、毎週土曜日を休漁日と設定し、クルマエビ資源の増加を図る。</p> <p>2. 魚価向上対策</p> <p>① 漁協とアカウニ採捕者は、徹底した漁場管理により、採捕量を増やし、漁協集荷量を向上させ漁業収入の増加を図る。さらに地元ウニ祭とタイアップさせ漁協出荷先を見直し、また販路開拓を図ることにより単価向上を目指す。</p> <p>② 漁協及び岩カキ養殖業者は、徹底した漁場管理を行い、作成した販促資材を用いて県内外への販売を進める。</p> <p>③ 漁協は、販売体制の効率化及び魚価の向上を目指し、整備した体制について検討を行い更なる効率化について検討する。</p>
--------------	---

	<p>④ 漁協及びアオサ養殖業者は、指導機関と連携した養殖管理手法の統一により各人の網1枚当たりの平均収量を向上させ、安定した生産量の確保に繋げる。また、品質管理を徹底させ単価向上を図ると共に販路拡大を目指す。</p> <p>⑤ 漁協は、魚価の向上を目指し、えびこぎ網漁や定置網漁で漁獲される低価格、未利用の水産物の需要にあった販売先に販売を継続する。また、地元加工業者は、引き続き、漁協が地元水産系高校等と連携し、開発したレシピによる加工品を製造し、販売する。</p> <p>⑥ 漁協は、採算性を考慮した商品によるカタログ販売や販売手法を改善した富岡港の直販所での販売を開始する。また、インターネット通販による商品を見直し、必要に応じて改善する。加えて、天草漁協全体でのワンストップ販売体制づくりを推進する。</p> <p>3. 新規就業者の確保・育成</p> <p>① 漁協及び漁業者は、漁業就業者不足や高齢化の進行に対応するため、県、町と連携し、新規漁業就業者の受入体制づくりを進めるとともに、町のホームページや広報等を活用して周知に努め、3名の新規就業者の確保を目指す。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>① 漁協及び漁業者は、燃油の急騰による漁業コストの圧迫に備えるため、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。</p> <p>② 漁業者全員が定期的な船底清掃や水揚中などの船舶係留中の機関停止を励行し、燃油消費を抑え、燃料消費を5%節減する。</p>
活用する支援措置等	<p>種苗放流事業（町）、水産多面的機能発揮対策事業（国・県・町） 熊本県栽培漁業地域展開事業（県・町） 漁業経営セーフティネット構築事業（国）</p>

(5) 関係機関との連携

再生委員会事務局の天草漁協苓北支所を中心に、メンバーである苓北町と熊本県天草広域本部水産課と連帯し、所得向上に努め各漁業種代表と成果について検討を行う。

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

(3) 所得目標以外の成果目標

アオサ養殖業者の品質管理を徹底し市場での販売単価を向上させる	基準年	令和2年度：販売単価 1,410 円/kg
	目標年	令和9年度：販売単価 2,150 円/kg

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

アオサ養殖業者の品質管理を徹底し市場での販売単価を向上させる販売単価は過去最高値を目指す。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
種苗放流事業（町）	アカウニ、クルマエビの種苗放流に対する経費に対する補助事業 水揚げ量の増加による漁業収入の向上
水産多面的機能発揮対策事業（国・県・町）	協定区域内における、スポアバック法によるクロメを育成やガンガゼの駆除、海域の漂流物の撤去による藻場保全
熊本県栽培漁業地域展開事業（県・町）	九州4県で行われている共同放流事業（クルマエビ部会、マダイ部会）への取り組み
漁業経営セーフティネット構築事業（国）	燃料高騰による漁業コストの増加に備え加入促進を図る 漁業者の維持管理費の削減に繋がる